

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

団体名称	株式会社かほく・上品の郷
------	--------------

1 財務諸表（金額単位：千円）

	借方（科目）	平成25年度期	平成26年度期	前期増減	平成27年度期	前期増減
		流動資産	197,868	206,349	8,481	214,865
	うち 現金・預金	178,318	190,489	12,171	200,034	9,545
	固定資産	77,298	77,059	▲ 239	65,964	▲ 11,095
	有形固定資産	55,429	54,257	▲ 1,172	42,444	▲ 11,813
	無形固定資産	2,335	1,229	▲ 1,106	740	▲ 489
	投資その他の資産	19,534	21,573	2,039	22,780	1,207
	資産の合計	275,166	283,408	8,242	280,829	▲ 2,579
	貸方（科目）	平成25年度期	平成26年度期	前期増減	平成27年度期	前期増減
		流動負債	84,099	88,091	3,992	78,237
	うち 短期借入金					
	固定負債	36,580	41,018	4,438	46,830	5,812
	うち 長期借入金					
	負債合計	120,679	129,109	8,430	125,067	▲ 4,042
	純資産	154,487	154,299	▲ 188	155,762	1,463
	うち 資本金	50,450	50,450		50,450	
	うち 資本剰余金					
	うち 利益剰余金	104,037	103,849	▲ 188	105,312	1,463
	うち その他					
	負債・純資産の部合計	275,166	283,408	8,242	280,829	▲ 2,579
貸借対照表 (B/S)						
損益計算書 (P/L)	科目	平成25年度期	平成26年度期	前期増減	平成27年度期	前期増減
	売上高	507,200	495,575	▲ 11,625	492,479	▲ 3,096
	売上原価	181,257	179,604	▲ 1,653	174,958	▲ 4,646
	売上利益	325,943	315,971	▲ 9,972	317,521	1,550
	販売費・一般管理費	318,444	311,978	▲ 6,466	317,011	5,033
	営業利益	7,499	3,993	▲ 3,506	510	▲ 3,483
	営業外収益	7,864	4,998	▲ 2,866	5,760	762
	営業外費用	7,277	1,812	▲ 5,465	1,894	82
	経常利益	8,086	7,179	▲ 907	4,376	▲ 2,803
	特別利益				3,150	3,150
	特別損失		5,000	5,000	6,150	1,150
	税引前当期純利益	8,086	2,179	▲ 5,907	1,376	▲ 803
	法人税等	2,551	▲ 155	▲ 2,706	▲ 86	69
	当期純利益	5,535	2,334	▲ 3,201	1,462	▲ 872

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
 ※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

区分	平成25年度期	平成26年度期	前期増減	平成27年度期	前期増減
	営業活動によるキャッシュフロー	24,710	26,742	2,032	6,729
税引前当期純利益	8,086	2,178	▲ 5,908	1,376	▲ 802
引当金の増減額	17,091	18,725	1,634	15,291	▲ 3,434
受取利息及び受取配当金	▲ 49	▲ 46	3	▲ 50	▲ 4
営業活動に係る資産及び負債の増減	▲ 5,213	5,294	10,507	▲ 8,151	▲ 13,445
利息及び配当金の受取額	49	46	▲ 3	50	4
利息等の支払額					
法人税等の支払額	4,746	545	▲ 4,201	▲ 1,787	▲ 2,332
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 10,414	▲ 27,507	▲ 17,093	▲ 5,006	22,501
有価証券の増減額					
有形固定資産等の増減額	▲ 10,195	▲ 11,447	▲ 1,252	10	11,457
投資有価証券の増減額	▲ 9		9		
貸付金の増減額					
その他の固定資産等の増減額	▲ 210	▲ 16,060	▲ 15,850	▲ 5,016	11,044
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 3,257	▲ 3,085	172	2,812	5,897
短期借入金の増減額					
ファイナンス・リース債権等の増減額					
長期借入金の増減額					
資本金等の増減額					
配当金の支払額					
その他固定資産等の増減額	▲ 3,257	▲ 3,085	172	2,812	5,897
現金及び現金同等物に係る換算差額					
現金及び現金同等物の増減額	11,039	▲ 3,850	▲ 14,889	4,535	8,385
現金及び現金同等物期首残高	49,011	60,050	11,039	56,200	▲ 3,850
現金及び現金同等物期末残高	60,050	56,200	▲ 3,850	60,735	4,535

（※1）負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

（※2）支出は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：千円）

区分	平成25年度期	平成26年度期	前期増減	平成27年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）					
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）					
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）					
委託料及び指定管理料					
借入金（期末残高）					
短期借入金					
長期借入金					
出資・出捐（期末時）	45,000	45,000		45,000	
債務保証額（期末残高）					
損失補償額（期末残高）					
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）					

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
 ※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ 補足資料

法人名： 株式会社 かほく 上品の郷

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

当期は、利益余剰金の配当をなくしたことにより、純資産が対前期 1,463 千円増加した。次世代自動車充電インフラ整備事業で交付を受けた補助金 3,150 千円は、法人税法第 42 条の 1 の規定に基づき圧縮計上とした。

貸借項目での重要な数値「自己資本比率」は 50%台を維持しており、対前期比で 1.1%増加している。(前期 54.4% 当期 55.5%)

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
固定資産	対前期 11,095 千円 14.4%減	有形固定資産の機械装置が 3,858 千円減。工具・器具備品が 6,266 千円減が減少の要因
流動負債	対前期 9,853 千円 11.2%減	売上の減少に伴う買掛金、未払い費用の 4,141 千円減が要因

2 損益計算書に関する補足

(1) 総括分析

総売上高が対前期 3,096 千円・0.6%減少している主な要因は、来客数は多いものの、売上に結び付いていない(必要数量のみ購入等)ことが大きく影響している。

開設から 10 年以上経過しているため、老朽化が目立ってきており、業務に支障を生じる恐れもあるので修繕を実施した。これにより修繕費が対前期 6,019 千円増加した。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
営業利益	対前期 3,483 千円 87.2%減少	売上高の減少と広告宣伝費の 1,906 千円、修繕費の 6,019 千円増加が要因

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

営業活動によるキャッシュフローは、前期と比較すると 20,013 千円減少しているが、投資活動・財務活動によるキャッシュフローと併せてみると、現預金が前期よりも 4,535 千円増加しているため、資金繰りについては特に問題はないと考えられる。

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項目	変動内容	変動要因
法人税等の 支払額	対前期 2,332 千円減少	利益減少の為

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額 (単位: 円)	補助金の使途

(2) 市からの委託業務等 (指定管理含む) の状況

委託業務の名称	委託料 (単位: 円)	委託業務の内容

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額 (単位: 円)	減免理由

市が期待する役割、市意見等（別紙）

法人名：株式会社かほく・上品の郷

担当部署名：河北総合支所地域振興課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

2015年度の来場者数は、前年よりも1万人以上増加の約105万人となり、安定した集客力を示している。売上額は約10億円。直売所や温泉保養施設の直営分も横ばいである。豊富な品ぞろえと笑顔の接客により、今後も地元のリピーターを重視して営業することを期待する。

（2）主要事業の成果、課題

道の駅としての各方面からの評価も高い。

※スタンプラリー完走者アンケートにおける「好きな道の駅」1位。

インターネット口コミランキング1位ほか。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）に対する意見

（1）貸借対照表

資産・負債の状況は、ほぼ横ばいである。

（2）損益計算書又は正味財産増減計算書

売上高はわずかに減少したものの、売上原価をそれ以上に抑えたり、営業外収入を増やすなどの努力で、当期も純利益を確保した。

(3) キャッシュフロー計算書

営業活動によるキャッシュフローは大幅に減少したものの、投資活動によるキャッシュフローをそれ以上に抑えるなど経営努力がみられ、フリーキャッシュを増加させている。現預金も昨年の減少を取戻し、一昨年を上回る額に回復しており、期末残高から判断しても、資金繰りに問題はないと考えられる。

(4) 市による財政・金融支援等

市からの財政支援は会社設立時の出資のみ。

3 法人に対し市が期待する役割等（担当部署所感）

情報や交流の拠点施設として、道路利用者や地域住民等に対し、より一層親しまれるようサービスの向上及び運営の効率化に努められることを期待します。

また、当市との災害時支援協定により、地域の重要拠点としての信頼性を益々高められると同時に、道の駅としてのブランドを築かれることを祈念します。